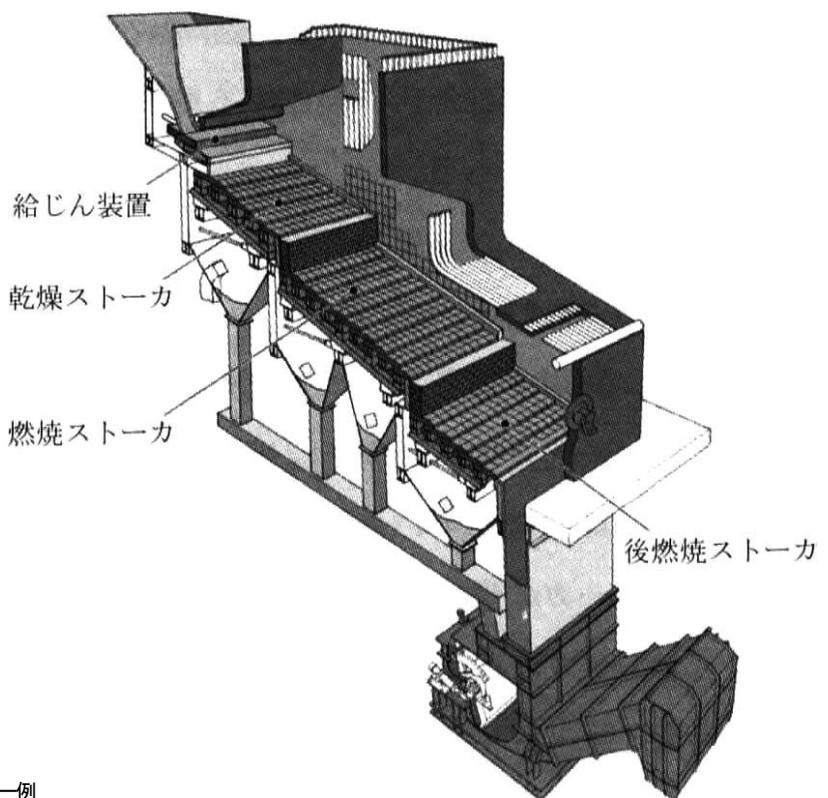


## ストーカ方式（焼却）の概要

<p>構造</p>	 <p>給じん装置</p> <p>乾燥ストーカ</p> <p>燃焼ストーカ</p> <p>後燃焼ストーカ</p> <p>図はストーカ炉の一例</p>
<p>特徴</p>	<p>“焼却”に特有の方式で、ストーカ（火格子）上のごみをストーカの下から空気を送って燃焼させる。炉上部からの輻射熱でごみを乾燥、加熱しながら、ストーカを動かしてごみを攪拌、移動させる。乾燥帯、燃焼帯、後燃焼帯をそれぞれ階段状に配置するものが一般的。</p>
<p>長所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・稼働実績が豊富で、過去に重大な事故は発生していない。</li> <li>・運転が比較的容易。</li> <li>・建設費及び維持管理費が比較的安価。</li> </ul>
<p>短所</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ処理量の1割程の灰が発生し、埋立処分量が比較的多い。</li> </ul>